

平成22年度局配分枠予算について

文化市民局

1 局配分枠予算編成に当たっての考え方

文化市民局では、施設使用料の改定等による収入確保や経費削減の取組などにより、新規事業の予算化や既存事業の充実を行うことで、市民サービスの水準が低下することのないよう十分配慮しながら、主に以下の5点の観点から予算編成を行った。

- ①文化財や伝統文化の保存・継承及び文化芸術の振興を通じた文化芸術都市の創生
- ②区役所の総合庁舎化、区役所機能の強化等による区役所サービスの向上
- ③市民が安心安全に暮らせるまちづくりの推進
- ④あらゆる人権問題の解決及び男性と女性が共に社会参加できる共同参画社会の推進
- ⑤市民が気軽にスポーツに親しめる環境の整備

2 局配分枠予算における主な新規・充実事業

<新規事業>

京都市キャンパス文化パートナーズ制度	10,000 千円
重要文化的景観選定に向けた調査	2,100 千円
大学との連携による未指定文化財庭園の調査	2,900 千円
動物園整備基金積立	40,530 千円
外国人住民に関する制度変更に伴うシステム改修	80,000 千円
犯罪被害者支援策の調査・検討	3,000 千円

<充実事業>

左京区総合庁舎整備事業

全体事業費 2,918,607 千円（うち充実分 2,047,777 千円）

京都市内埋蔵文化財考古資料の電子化作業（緊急雇用創出事業）

全体事業費 95,000 千円（うち充実分 75,000 千円）